

# 第1章 総論

---

---

# 第1章 総論

## I 「交通ビジョン」策定の趣旨

本県では、平成 24(2012) 年3月、県民一人ひとりが福岡県に生まれ、生活してよかったと実感できる「県民幸福度日本一」を目指した「福岡県総合計画(2012)」の部門計画として、10 年程度先を見据えた「福岡県交通ビジョン 2012」(以下「交通ビジョン 2012」という。)を策定しました。

「交通ビジョン 2012」の策定後、福岡空港と北九州空港の連携強化に加え、東九州自動車道の開通など、本県の交通基盤整備は着実に進展しました。

一方で、この5年間に交通政策は大きな転換点を迎えました。平成 25(2013) 年に、交通政策の基本理念と国や自治体の責務を規定した「交通政策基本法」が成立し、豊かな国民生活の実現や国際競争力の強化、地域の活力向上などのために、交通機能の確保・向上に国をあげて取り組むことが明記されました。

交通を取り巻く状況も大きく変化しました。インバウンド(※1)が急増し、本県への外国人入国者数が過去最高を更新したこと、人口減少の問題がクローズアップされ、地方創生の取組みが始まったこと、九州北部豪雨や熊本地震が発生し、防災の重要性が改めて認識されたことなど、5年前には想像できなかった状況も生じています。

「福岡県交通ビジョン 2017」(以下「交通ビジョン 2017」という。)は、こうした、これまでの成果や交通を取り巻く状況の変化を踏まえ、行政機関のみならず県民、交通事業者などあらゆる関係者が協働し、交通に関する諸施策を推進するために策定するものです。

※1 インバウンド:「入ってくる、内向きの」という意味であり、観光分野においては一般的に「日本を訪れる外国人旅行者(旅行全体を指す場合もある)」を指す。

## II 計画の性格

時代の変化を踏まえた5つの「基本方針」をもとに、取り組むべき交通施策の方向性を示すものです。

## III 計画期間

平成 29(2017) 年度から平成 33(2021) 年度までの5年間とします。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
交通ビジョン	《10 年程度先の社会を見据える》									
	交通ビジョン 2012					交通ビジョン 2017 の計画期間				
	←					→				
	-----					-----				
	検証									